

町長一般経過報告

第3回広野町議会定例会

“日本一元気な町づくり” ふる里復興・創生「新生の年」 —いのちを守り、人を活かし・未来をつくる町—



遠藤町長

令和元年第3回広野町議会定例会が9月10日から13日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（6月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

7月6日、JR広野駅及び周辺において、広野駅環境美化推進協議会をはじめ、広野町婦人会、地元企業、JR東日本、役場職員など多数の方の参加をいただき、駅構内や駅前広場の清掃・除草作業を実施しました。



JR広野駅環境美化清掃活動実施

7月3日公示、7月21日投票の日程で、第25回参議院議員通常選挙が執行されました。選挙管理委員会においては、投票率の向上にむけた広報・啓発活動を積極的に進め、投票率の向上に努めました。投票率は福島県選出議員選挙において56・67パーセント、比例代表選出議員選挙において56・62パーセントでありました。

8月10日、伊東市で開催された第73回按針祭に広野町議会副議長、総務文教常任委員会委員長、産業厚生常任委員会委員長と教育長、教育次長、出納室長が出席をし、交流を深めました。

8月19日、20日、係長職以上の管理職を対象とした危機管理研修を実施いたしました。「自治体とリスク管理問題」、「危機管理と知識伝達の問題」等の講義をいただき、問題解決に向けた演習をワークショップ形式で実践し、危機管理における基礎を学びました。職員の危機管理意識向上のための取組を継続していきます。

復興企画課

二ツ沼総合公園のバナナ栽培事業については、東日本大震災及び原子力事故より使用されなくなった、フラワーパーク内、大型ハウスの利活用を検討していたところ、JA福島さくら等から岡山の国産バナナを紹介して頂きました。インパクトがあり、新たな特産品として誇れる作物になると確信し、事業の遂行を決定しました。

7月4日、アサヒグループホールディングス株式会社からバナナ栽培事業に対し、地域振興事業の名目で昨年、今年と計400万円の寄付を贈呈頂きました。これらの資金は、収穫したバナナを熟成させる追熟庫の建設費用として充てられました。アサヒグループホールディングス株式会社からは、これまで800万円の寄付を頂いております。

8月3日、新校舎となった「福島県立ふたば未来学園高等学校」を会場に開催した、第4回ふくしま学（楽）会「ふくしまから伝えたいこと、知らなければいけないこと。」では、早稲田大学はじめ東京大学、京都大学などの研究者、地元住民やNPO団体、ふたば未来学園高校生など約100名が参加し「まちづくりと住民参加」、「持続可能な農林水産業の創造と地域再生」、「再生可能エネルギーとスマートタウン」、「1F事故処理・廃炉と汚染水問題」をテーマにそれぞれの研究成果を発表しました。

8月4日、第4回福島第一廃炉国際フォーラム「福島第一廃炉と未来について話し合おう」が避難の解除された富岡町文化センター「学びの森」で開催されました。国や東電、廃炉関係者、地元住民、高校生ら約600名を交え、情報

の正確な発信、合意形成のあり方、地域の将来像などについて議論を行いました。単なる廃炉の議論に終わることなく、課題解決を通じて若者参加と地域活性化に繋がる議論となることを願います。

8月19日、内堀福島県知事を迎えてバナナの初収穫を行いました。知事からは「広野でのバナナ栽培は復興のシンボルになる」とのお言葉を頂き、期待の大きさに身の引き締まる思いであります。今回収穫したバナナは、昨年定植した1500株のうちの1株で、約100本の収穫がありました。今後、2月末までに約3万本のバナナを収穫する予定です。

また、初収穫にあわせて広野産バナナの名称も発表しました。正式名称は「朝日に輝く水平線がとても綺麗なみかんの丘のある町のバナナ」とし、愛称を「綺麗」といたしました。384編の公募の中から、厳正な審査を経て決定しました。

8月27日、福島復興局長、福島県知事及び県幹部、福島県町村会長らに、熟成させたバナナの初披露として、ご試食頂くため、広野産バナナ「綺麗」の贈呈を行いました。今後は、住民の皆様にお披露目をし、地域の特産品として親しみをもって頂けるよう取り組みと共に、着実な生産と業務運営の推進に向けて、町づくり会社である株式会社広野町振興公社と連携

を図っていきます。

9月2日、広野町と東京パワーテクノロジー株式会社との工業団地進出に伴う事業の推進協定を、広野町議会議長及び副議長の出席のもと執り行いました。火力発電所から発生する石炭灰、スラグをリサイクルし建設資材を製造するプラントを建設します。本事業は、地域の雇用拡大はもちろんのこと、火力発電所の立地町として重要な役割であると考えております。



東京パワーテクノロジー(株)と協定締結

健康福祉課

7月9日から13日までの5日間、広野町保健センターにおいて総合検診を実施しました。受診者数は、国保特定健康診査426名、後期高齢者健康診査197名、社保被扶養者特定健康診査75名、その他の検診13名、合計711名でした。今回受診されなかった方の

受診機会として9月1日、日曜日に検診日を設定するとともに、国保特定健康診査の未受診者に対して受診勧奨通知を行い、受診率の向上を図りました。

この検診結果につきましては、9月9日から18日までの期間において、福島県医師会及び福島県立医大の協力の下、保健センター及び地区集会所、7箇所において、生活習慣病予防と重症化予防を念頭に、「検診結果説明会」を開催しております。

女性特有の疾病である「乳がん・子宮がん」の早期発見・早期治療を図るため、7月1日から10月31日の期間、乳がん検診・子宮頸がん検診について検診日・検診場所を設定し、広野町保健センター又はいわき市の医療機関において実施しています。



敬老会で余興を楽しむ参加者

9月4日、令和元年度広野町敬老会を町中央体育館において開催し、結婚50周年を迎えられた7組

のご夫妻へ福島民報社とともに金婚夫婦表彰を行い、最高齢者及び満85歳以上の高齢者に対して記念品の贈呈を行いました。余興として「ものまね歌謡ショー」、「マジックショー」を開催し、来場された約300名の高齢者の皆様は、楽しい一時を過ごしました。

福祉のまちづくり事業として昨年度から取り組んだ「広野町健康福祉手帳」が完成し、来場された高齢者の皆様に手渡しで配布しました。

子育て家庭課

6月18日、7月23日及び8月20日に乳幼児健診を実施し、双葉町、富岡町の乳幼児も含め、35名の参加がありました。

6月21日、広野こども園として初めての保育参観・給食参観を実施



こども園給食参観

7月4日、当日は81名の保護者参加のもと、クラスごとに七夕飾りの制作やゲームなどを行い、親子で楽しい時間を過ごしました。

6月28日、広野こども園の外構工事が完成し、翌29日より駐車場を利用いただけるようになります。工事中は、長期間にわたり園児保護者の皆様にご不便をお掛けしましたが、ご理解ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

7月3日、今年度2回目となる「トツキトウカ事業」を実施し、夫婦で参加の2組を含む6名の妊婦が、助産婦によるミニ講座を受講いたしました。

7月20日、結婚支援事業の一環としてJヴィレッジにおいて婚活イベントを開催し、男性13名、女性10名の参加がありました。引き続き、様々な少子化対策事業を展開していきます。